



Profile

●おおえだかすまさ  
ご存じ、「ごはんやランチ」  
(野田)のマスター。ジャズをはじめとした音楽をこよなく愛し、仲間とコンサートを開くことも。今回、実家を念願の民泊施設に。

Profile

●いささきこうへい  
日野町地域おこし協力隊員、  
神奈川県出身。「ヨガ」で  
まちを元気にしようと奮闘  
中。妻のカオンさんと一緒  
にヨガや生活体験ができる  
民泊施設をオープン予定。

根雨に「自分ち」見つけた♪

# オレん家来いよー。

日野初の民泊施設が誕生。民泊を始める2人にインタビュー

2018年6月、民泊新法(住宅宿泊事業法)が施行され、一般の住宅や空き家、空き室を民泊施設として利用できるように。2020年には東京オリンピック・パラリンピックを控え、日本を訪れる外国人観光客の数も今後ますます増えていくことが予想されます。そんな中、日野町でも民泊施設「俺ん家」がオープン。観光客誘致による町の活性化、にぎわい創出に期待がかかります。

町内で飲食店を営む太枝二正さん(根雨)は10月、ゲストハウス「俺ん家」をオープン。地域おこし協力隊として活動している家崎耕平さんも12月に空き家だった住居を民泊施設「ほん・ぱん・にゃ」として開く予定です。そんな2人にいろいろ語ってもらいました。

— それぞれ日野町で民泊を始めるきっかけは何だったのですか？

太枝 5年前に実家の一部を改修したのが最初のきっかけでした。その昔、新潟でペンションを経営していたこともあり、根雨に戻ってきてからも「いつかやれたらな」と思っていました。今回、法律が変わり、「日野軍★みらい創生デザイン会議」や「チームひの」の皆さんにも手伝ってもらいオープンすることができました。

家崎 私の場合は、北米最大のヨガ&健康センターに滞在していた時に経験したことが影響しています。そこでは、週末におじいちゃん、おばあちゃんから子どもまで多くの人が集まり、心と体をリフレッシュしていました。まるで「小さな旅行先」のような感じ。日本でもそのような場所をつくりたいと思ったことがきっかけです。

— 確かに、日本だと渋滞や人混みなど、行くだけで疲れちゃいますよね。どんな人に宿泊して、どんな体験をしてもらいたいですか？

家崎 都会の生活や現代社会に疲れて、「当たり前」を忘れてしまった人たち(笑)ですかね。もちろん、日野町や田舎への移住定住を考えている人にもぜひ、宿泊してもらいたいです。私たちのゲストハウスでは、草刈りや農作業などの生活体験をヨガ的に体験できるプログラムを考えています。あと、地域の「温かさ」も。例えば、あいさつだけで終わらない会話を楽しんでもらって、人間力を磨いてほしいなと思います。

太枝 まさに「自分の家」感覚でいるんなりに来てほしい。これまでラフティングやオシドリ観察、金持神社など、日帰りや来日した皆さんにもっと町の魅力を感じてもらいたいですね。日野町に滞在先が増えることで、近場の温泉に行ったり、周辺のいろんな観光地を訪ねたりと、選択肢が増えると思うんです。それが、やがて日野の魅力アップ、まちの活性化につながってくれればうれしいですね。

**個民家リトリート ほん・ぱん・にゃ**  
ヨガを実践する家崎さん夫妻が営む日野川近くにたたずむとある民家。ここでは、ただ泊まるのではなく、ヨガ的な生活や瞑想をはじめ、採れたて野菜中心のカラダにやさしい料理教室といった、さまざまな体験ができます。都会の喧騒や生活に疲れたあなた。ヨガ的に日野の自然を体感し、五感を解き放ってみませんか。

■料金 / 2泊3日2万円～(レッスン&体験付、食事代別途)  
■宿泊可能人数 / 1～5人 ■利用案内 / チェックイン 13:00～17:00、チェックアウト 11:00、駐車場有※根雨駅・生山駅までの無料送迎有 ■宿泊予約・問合せ / 家崎 (080-2920-7528)